

# 「今後も交流深めたい」

市交 流 会  
都 市 報 告  
姉 妹 訪 問 団

【七飯】10月に米国マサチューセッツ州コンコード町を訪れた姉妹都市交流訪問団の帰町報告会が13日、町文化センターで開かれた。初めてのアメリカでさまざまな体験を通じて大きく成長した生徒たちは「視野が大きく広がりました」「今後も交流を深めていきたい」と話していた。  
(今井正一)

## 現地の歴史や自然紹介



コンコードでの思い出を語る生徒たち

## コンコード、ボストンなどに滞在

本年度の派遣団は、馬場修一副町長を団長に、七飯高校や町内3中学校の生徒8人や町民代表の社会人ら14人で構成。10月に11日間の日程で、コンコードやボストンなどに滞在し、生徒たちはホームステイをしながら、七飯高校の姉妹校カーroll高校で現地の歴史や文化を学んだ。

報告会で馬場副町長は「文化や生活習慣が違っ中、交流団としての任務を全うし、両町のきずなを深めたと実感している。生徒たちは多くを学んで、大きくなって帰ってきました。これからも存分に活躍してほしい」と述べた。

ビデオ上映では、訪問団の生徒たちがカーroll高校のラジオ局でDJに挑戦したり、現地の人たちが踊りで交流する姿など、楽しい思い出を振り返った。写真では現地の自然や歴史を紹介し、山田史学吉員は「遠い場所だが七飯と似たような歴史性を感じた」と話した。

生徒たちはボストンファミリーとの思い出、将来の夢や目標について、経験を交えて感想を語り、七飯高校2年の武田莉奈さんは「慣れずると英語も聞き取れるようになり、会話力がついた。いつかまたコンコードに行ってみよう」と話していた。